

# 篠岡神社報

## 宗教法人と税金

九十年代のオウム事件、またはそれ以前からの新興宗教によるトラブル、そして昨今の宗教法人格の売買問題等により、「宗教法人に税金が掛からないのはおかしいのではないか」との意見が以前からあります。言うまでもなく神社もその殆どは宗教法人ですが、では、宗教法人は完全に無税であるのか、と言うとそうでもありません。どの様な場合に非課税、課税とされるのかを説明致したいと思います。

宗教法人の収入は、大別すると宗教活動とその他の事業Ⅱ収益事業に分かれます。他に保育園などを運営していたりするとまた違ってきますが、ここでは割愛します。宗教活動とは、神社で言えば御祈祷であったり御守の授与であったりと言ったものを指し、賽銭含むこれらの収入に対する利益（剰余金）は、宗教法人としての収入である限り、法人事業税等の対象とはなりません。これは、御祈祷、御守、賽銭等に対する参拝者の支出が「対価性のない、信仰に基づく寄付行為」であるからとの事です。逆を言えばそうではないものの、例えば境内に自販機を設置しジュースを販売する行為は、宗教法人がその自販機の設置主

体である場合は「物品販売業」、どこかの事業者にと委託し地代だけ受け取る場合は「不動産貸付業」となるので、収益事業として法人税が掛かり、また消費税も納付しなくてはなりません。

ところで、たまに「自販機を置いたり月極で駐車場を数台貸すだけでも多少の収入になるのではないか」と総代さんからお話しがありますが、年間十万円以下程度の収益事業では、法人税の均等割分や申告業務の煩雑さを考慮すると、現実的ではありません。

尚、神社の授与所

で御守等の授与品と同様に書籍や、一昔前の観光地の神社であればテレホンカードやポストカードを販売していた、またはしている所もありますが、これらは物販になりますので、一般的には収益事業として会計を別にしていくはずですが、ただ、前述の様な理由から、また時代の変化もあり、授与所でポストカードやテレホンカードを取り扱っている神社と言うのは少なくないのでは無いでしょうか。

宗教法人の行う

収益事業は物販を含め三十四の種類が定められていますが、特に地方の神社で多いのは不動産貸付業ではないかと思えます。数千坪以上の境内地を所有している大都市近郊の工場密集地域：特に小牧市周辺では企業に工場用地であるとか駐車場用地として境内地を貸し付けている事例が多く、当職所管神社でも数社あります。この様な場合は、神社が境内地として利用する場合には非課税となる固定資産

上末 八幡社  
大字上末字新田一二五番地

下末 天満天神社  
大字下末字天神前一四七五番地

池之内 八幡神社  
大字池之内字雨作六三一番地

林 三明神社  
大字林北一〇一番地の一

野口 白山社  
大字野口字神尾前二八七七番地

野口 神明社  
大字野口字勾当田二五七七番地

野口 八幡社  
大字野口字惣門二二〇七番地

大山 児社  
大字大山字郷島四一二番地

発行

宮司 加藤祐佑

〇五六八・七七・四三二〇

ホームページ「東春神社考」



税は貸し付けている土地分納税しなければいけませんし、法人税も当然に納税します。

特に土地貸しの場合経費は固定資産税以外ほぼ発生しないので、地代収入の半分程度は課税所得となります。逆を言えば、収益事業を行っていない神社(宗教法人)であれば、どれだけ地価の高い土地を大に所有していても、境内地であれば固定資産税は掛からない、と言う事になります。その様な立地の所は収益事業として貸し付けている所が多いでしょうし、山の中の数万坪等であれば境内地でなくても固定資産税は年間数万円、と言った所かとは思いますが。

ちなみに、宗教法人が収益事業を行う際に掛かる法人税は営利企業と比較するとやや低くなっていますが、これは株式会社のように最終的な利益を分配(配当)しない事を理由としており、社団や財団においても同様の優遇があります。

この様に、宗教法人も宗教

活動以外の事業を行う際は納税の義務が発生しますし、また宗教活動に関わる事であっても消費税や自動車税、ガソリン税等は当然に掛かっています。また当然の話ではありますが、神職なり僧侶なりが宗教法人から受け取った報酬には、所得税も住民税も掛かっています。

「宗教活動での収入に税金が掛からない、固定資産税も掛からないだけ良いじゃないか」と言う意見は当然かと思いますが、仮に神社や寺に事業税を掛けるとすると、数十年に一度の社殿の造営費等を減価償却費として計上する事になる(今は計上していない所が殆どです。意味が無いので)、課税所得として毎年残る金額と言うのはかなり些少のものになると思います。又、仮に全ての所有地に固定資産税が掛かる様な事になれば：例えば当職所管神社で周辺地価坪四十万×二千坪＝市価約八億、年間想定固定資産税額八百万としてもその神社

の年間収入は二百万足らず、切り売りするか月極駐車場にするくらいしかないのです、所謂「たわけ」な細かな土地が生まれるか、または過疎地域であれば胡散臭い外国資本の会社にメガソーラー用地として売却されるだけでしょう。極めて個人的な印象ではありますが、特に収益事業として土地貸しを行っている社寺は、法人の規模の割にはそこそこの税金を納めているのではないかと思います。

※細かな数字については個人の経験事例による所が大きいため、個別事案との差異についてはご容赦ください

### 祭典予定

#### 十二月

二十一日天満天神社月次祭

#### 一月

一日 池之内八幡神社歳旦祭

野口白山社歳旦祭

兒社歳旦祭

野口神明社歳旦祭

三明神社歳旦祭

野口八幡社歳旦祭

上末八幡社歳旦祭

天満天神社歳旦祭

#### 二月

一日 池之内八幡神社厄除祈禱

上末八幡社厄除祈禱

天満天神社各種祈禱

八日 野口神明社厄除祈禱

#### 三月

二十二日野口神明社祈年祭

三明神社祈年祭

池之内八幡神社祈年祭

天満天神社祈年祭

野口八幡社祈年祭

※日程は変更になる場合があります。最新の予定及び詳細な時間は公式サイトをご覧ください。

### お知らせ

正月期間授与所開設について

お正月期間の御守等の授与については左記の通りとなります。

上末八幡社：一日午前のみ有人、十五日頃迄無人にて対応。

天満天神社：一日零時より正午頃迄有人、十五日頃迄無人にて対応。

※両社とも無人対応は野菜の無人販売所の様な形式です。

### 厄除等の祈禱について

池之内、上末、野口の各神社に於ける厄除祈禱は、地域回覧での募集により上記祭典予定の通りに執り行います。

下末天満天神社については下末在住でない方も当日申込が可能で、厄除、家内安全、合格学業成就祈禱を執り行います。詳しくは十二月中旬以降に公式サイトをご覧ください。

### 次回発行予定について

「篠岡神社報」次号010号は、三月下旬頃発行予定です。